

2018年度 こども園 アサンプション国際幼稚園 幼稚園評価報告書

1 2018年度活動テーマ

「子どもの自立・自己呼应定款を高める保育」
人格形成の大切な幼少期に、様々な体験を通して子どもが遊びの中から学び、強く優しい体と心を育む。

2 重点取組内容

1. 教育事業
2. 教育環境の整備
3. 社会連携・奉仕事業
4. 募集・入試に係る事業

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析
[2019年2月実施分]

○保護者

昨年度2月に保護者向けアンケートを実施した。

- ・子どもにとって何が一番大切かを一つ一つ精査しながら、カリキュラムの再構築をした。子どもの自主性を重んじるような援助を心がけた。各行事にて、ねらいと目的を保護者に伝え、子どもたちの成長した姿を見ていただくことで、少しずつ理解と協力を得られるようになっていった。
- ・こども園でありながら、学校行事や教育活動における保護者の負担（クラス委員会・父母の会活動など）が大きいと感じている保護者が多数あった。父母の会役員の方々の協力により、2019年度からの保護者の負担軽減が実現化するが、今後も、幼・小・中高の一貫校であること、「幼稚園」から「こども園」へ移行したことをふまえ、学院全体の継続検討課題である。
- ・2019年3月19日の預かり保育中に、保育者による園児に対して以下のような不適切な指導があった。
 - ◆子どもには理解できないような飛躍した例えを用い、当該園児の自己肯定感を損ねるような表現や恐怖感を与える指導をしたこと
 - ◆長時間にわたっての指導により、当該園児に精神的な苦痛を与えたこと

この件について園は重く受け止め、市役所・関係各所に報告した。法人本部及び外部からも助言を受け調査を行

い、当該園児保護者の方にもお詫びした。(2019年度初めの保護者会総会でも全保護者に報告する。)
また、再発防止に取り組み、教員研修を実施する。

○教員

年度末に教職員向けアンケートを実施した。

- ・今年度、保育者が主導で保育をするのではなく、子どもが主体的に取り組むような活動(生活発表会)を増やした。子どもたちがそれぞれの個性を活かしながら、笑顔で活動する姿が見ることができた。今後も教育要領の改訂に伴う園の取り組みを教員全員が理解し、それに向かうことが必要である。
- ・聖堂訪問や神様のお話の他に、カトリック的な価値観をどのようにして日々の保育に活かしていくのが今後の課題である。
- ・計画と準備に放課後の時間が足りないと感じることがある。「こども園」であり、長時間保育であることも視野に入れた、年間行事計画や日案・月案をたて、また、保育後の時間を有効に使えるように、業務の分担化を図る必要がある。(昨年度からの継続課題)

学校関係者評価委員からの意見

- ・縦割りと横割りクラスでの活動がバランスよく取り入れられている。
- ・行事やイベントは伝統を守りつつも、新しい内容も取り組み、普段の園教育の指導や頑張りが感じられる。
- ・認定こども園として働く保護者の増加により、様々なニーズに応えることが難しい。特に父母の会の活動が不公平無く進めていくには抜本的な改革も必要である。
- ・不適切な指導があったことは誠に残念ではあるが、これを機に今後の教員への指導に活かしていただきたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

| 重点取組内容 | 今年度の重点目標 (Plan) | 具体的な取組計画・内容 (Do) | 評価指標 (Check) | 自己評価 (Action) |
|--------|--------------------|---|--|--|
| 1 教育事業 | (1) 教育充実のために取り組む | <p>(ア) 遊びを通して主体的・協同的な学びができる保育を強化し、カリキュラムをブラッシュアップする。</p> <p>(イ) 保育内容や体験活動をより充実させ、子どもたちの知的好奇心を高めるとともに、小学校をはじめ他所属との交流を活発にし、学院全体で園児を見守ることで、一貫教育のよさを伝える。</p> <p>(ウ) 担任による日々の宗教教育に加え、シスターによる神さまのお話を実施する。</p> <p>(エ) 幼児体操専門の指導員を招き、心と体の鍛錬と体力の向上を図り、子どもたちの運動能力を伸ばすための体操保育を実施する。 また、幼児英語専門の指導者のもと、ゲームで遊んだり歌ったり、楽しみながら自然に英語や国際感覚を身につける英語保育を実施する。</p> | <p>(ア) 全行事の企画運営の再確認・またカリキュラムの再構築を行う。</p> <p>判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(イ) 一貫校として他所属との交流を活発化する。</p> <p>判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(ウ) カトリック的価値観を日々の保育の中で活かす。</p> <p>判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(エ) 幼児体操・幼児英語それぞれの専門指導員のもと保育を実施する。</p> <p>判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> | <p>(ア) 判定：○ 子どもたちが自分で考え行動できるような活動を取り入れた。 (テーマを決めた自由制作活動を実施した)生活発表会では、その活動の成果を保護者に見ていただくことで、教育方針への理解を得ることができてきた。</p> <p>(イ) 判定：△ 中学高等学校からの海外留学生との交流会、小学校「みんなであそぼう」など、他所属との連携を図ることができた。</p> <p>(ウ) 判定△ シスターによる神様のお話は実施できたが、各クラスでの宗教教育は時間を取ることができなかった。</p> <p>(エ) コヤマススポーツスクールに体操保育を業務委託し、子どもたちの運動能力を伸ばすことができた。また、体操保育に必要な知識や技術を教員が学ぶこともできた。 また、E T Mを実施した。2019年度は外国人教諭による英語保育の実施を企画する。</p> |

| | | | | |
|--|---------------------|---|---|---|
| | <p>(2) 教員のレベル向上</p> | <p>(ア) 教員スキル向上研修や公開保育、メンタルヘルス対策、学校カウンセラーによる教育相談を実施する。</p> <p>(イ) モンテッソーリディプロマ保持者による指導方法の伝授や教材作成を実施する。</p> <p>(ウ) 神父様や宗教担当者による研修を実施し、カトリック教育の理解を深める。</p> <p>(エ) 新任研修、保育参観指導研修を充実させる。</p> | <p>(ア) 学校カウンセラーによる研修・教育相談の実施する。</p> <p>判定：できた ○ できなかった ×</p> <p>(イ) 新任研修を含めたモンテッソーリ研修会を実施する。</p> <p>判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(ウ) 定期的な教員向けの宗教研修を実施する</p> <p>判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(エ) 新任研修・保育参観指導研修等を実施する。</p> <p>判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> | <p>(ア) 判定：○ 定期的な研修や学校カウンセラーによる教育相談を実施した。</p> <p>(イ) 判定：○ 年間6回以上のモンテッソーリの内部研修を実施した。</p> <p>(ウ) 判定：△ カトリック教育の宗教研修は実施したものの、理解を深めるためにはより研修を重ねる必要がある。</p> <p>(エ) 判定：× 2019年3月19日、預かり保育実施中に、園児に対して教員による不適切な指導があった。当該園児とその保護者にお詫びをし、4月19日の父母の会総会にて保護者説明会を実施する。専任だけでなく、定時職員(パート職員)にも研修に参加できるようにする必要がある。</p> |
|--|---------------------|---|---|---|

| | | | | |
|------------------------|---|---|---|---|
| <p>2 教育環境の整備</p> | <p>(1) 子どもたちは毎日過ごす環境を、明るく・美しく・安全に整える。</p> | <p>(ア) 定期的な安全点検（園舎・園庭・遊具等）を実施する。</p> <p>(イ) 自家用車送迎を希望する家庭には、毎年度申請制とし、「立体駐車場使用許可証」を発行する。</p> <p>(ウ) 自転車通園・徒歩通園の家庭には、マナー登降園指導を実施し、安全管理に努める。</p> | <p>(ア) 月始めの各所安全点検を実施する。 判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(イ) 本学院内に車で入構する場合は許可証をフロントガラス内側に呈示するよう徹底し、安全管理に努める。 判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> <p>(ウ)、マナーを守って安全に登降園できるよう、教員が迎え入れや送り出しをする。 判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> | <p>(ア) 判定：○ 6月の地震後、第一園庭横と園舎入口に続くブロック塀の改修工事をした。</p> <p>(イ) 判定：○ 保護者に、自家用車での通園には必ず「立体駐車場使用許可証」を提示するよう促した。また、近隣（ファミリーマート等）に無断で駐車する在園児の車を取り締まり、指導をいれた。</p> <p>(ウ) 判定：○ マナーを守って安全に登降園できるよう、教員が迎え入れや送り出しをするようにした。</p> |
| <p>3 社会連携・奉仕事業</p> | <p>(1) 地域との連携や子育て支援の充実を図る。</p> | <p>(ア) 地域子育て支援のイベント「みんなであそぼう」を定期的実施する。</p> | <p>(ア) 地域子育て支援のイベントを年間12回以上（園庭開放を含む）実施する。 判定：できた ○ 一部できた △ できなかった ×</p> | <p>(ア) 判定：○ 地域子育て支援のイベント「みんなであそぼう」を年間18回（園庭開放を含む）実施した。</p> |